

No. 933

# 極 限 に 舞 ぶ

— 中日カップ国際選抜大会 —

中日新聞社、日本体操協会共催の1971年中日カップ国際選抜体操競技大会が11月27、28日の二日間名古屋市の愛知県体育館で開かれました。

参加選手はソ連、米国、ハンガリーそれに地元日本の4カ国、合計32名の選手が中日カップをめざして技を競いました。

男子では中山彰規選手が鉄棒で9.75をマークして2連勝、第一人者の貫録を示しました。

女子はソ連勢が圧倒的に強く特に世界選手権保持者ツリシチェワと13才の少女ドロノワの演ずる極限の舞ひは満員の観衆を驚嘆させました。

結局総合優勝は僅か0.05の差でドロノワが獲得しましたが、赤い妖精、ソ連女子陣の活躍が一際光った国際選抜体操でした。

# こ ち ら 119 番

おなじみ119番東京消防庁の指令室。ここだけで一日、500件にもものほろ火災関係の電話を受信。

そのほとんどが「火事だ、火事だ」とさわぐだけで所・番地はすぐには出てきません。

指令室のある係官は「もっと落ち着いて所・番地をはっきりと知らせて欲しい」とこの様に訴えています。火災の原因はタバコの不始末が最も多く、次いで子供の火遊び、そしてコンロ、ストーブによる火災と続きます。

全国では6分30秒に一件の割合で火災が発生しており、昨年だけでもおよそ1,600名もの尊い人命が火災により失なわれました。

最近では今年の5月千葉県のあるデパートが、通行人のタバコの不始末から出火、延々16時間も燃え続けビル火災の恐ろしさをまざまざと見せつけました。

年の瀬を控え一人一人がもっと注意して、とりかえしのつかない大事故から守りたいものです。